

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 水海道山田教室

保護者等数(児童数) 22(24) 回収数 21 割合 95 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1			・部屋が2つに分けられていて、遊んだり勉強しているのを見ているので十分だと思う。 ・のびのび遊べる広さを確保している。	・人数が多い時は部屋を分けたり、適度な間隔が保てるよう工夫して活動しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	2		4		・保育士、児童指導員を基準に従って配置しています。 ・障害に関する知識や支援の質の向上のため、継続的に職員研修を実施していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4	1	4	・段差が入口、部屋の中にないので、配慮されていると感じます。 ・子どもが、過ごしやすい作られています。	・収納棚・ロッカー・ドア等には、文字の他、絵や写真で注意喚起や用途の可視化に努めています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20			1	・こちらの心配事を考えた上で、毎回適切な計画を作ってもらえています。 ・今の課題が正確に反映されていると思います。	・保護者様のご意見・ご希望を伺い、相談支援員さんとも連携を取り、支援計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21				・毎月いろいろなプログラムがあって、とても楽しそうです。 ・子どもが楽しめるように沢山のプログラムがあると思います。	・学年に応じた課題や楽しみながら成長に繋がる活動を取り入れるように考えています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	3	13	・活動時間が放課後なので、行なうのは難しいと思います。	・現在はそのような機会を設けていませんが、今後検討していきたいと考えています。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	2			・資料と一緒に、きちんと説明してもらえました。	・今後も分かりやすい説明を心がけます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2		1	・お迎え時に子どもの様子を聞いたり、連絡帳もあるので、十分できていると思います。 ・こまめに話をしてくださるのも助かっていて、家でも取り組んでいます。	・連絡帳やLINEだけではなく、送迎時の際に教室での様子も伝えし、ご家庭での様子や保護者様のご意見、ご要望を伺うようにします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	3		1	・面談で、こぼんでの様子が詳しくわかって助かります。	・お仕事等で面談が困難な場合には、電話でお話を伺うなどの調整をしています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	9	6	・働いている保護者も多いので、行なうのは難しいと思います。	・保護者様の交流会や勉強会を開催する方法(ZOOMなど)も検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2		8	・いろいろな意見を聞いていただき、ありがとうございます。	・苦情の受付窓口は、重要事項説明の際にお伝えしてありますが、ご契約以降もご案内に努めます。 ・苦情があった場合は速やかに対応します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1		1	・LINEや電話など、きちんとなされていると思います。	・送迎時の対話、連絡帳、LINEを活用してコミュニケーションを深めます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19			2	・毎月のお便り、LINEなどの写真で、活動の様子も知れるので、満足しています。	・保護者様に教室での活動での様子や取り組みなどを分かりやすくお伝えできるよう、こぼんだより、LINE、Instagramの内容を充実できるように努めます。
14 個人情報に十分注意しているか	19			2		・個人ファイルの管理や情報の取り扱いに注意していきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	3	1	9	・以前文書での説明をいただいています。 ・防犯に関しては、少し心配です。	・マニュアルは社内掲示だけではなく、保護者様にもお知らせするよう改善していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2		6	・毎回違う訓練がプログラムに組み込まれているので、とても安心できます。 ・訓練は行われているが、少し心配はあります。	・どの児童も経験できるよう、実施曜日が偏らないように訓練日を設定していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	2		1	・毎回とっても楽しみにしています。 ・こぼんの迎えが来ると、すぐに玄関に行きます。	・児童が楽しみながら成長できる教室を目指します。
	18 事業所の支援に満足しているか	20	1			・感謝もしているし、とても満足しています。 ・皆さんがとても優しくしてくれ、またできることも多くなり、とても満足しています。	・保護者様のご意向に沿いながら、質の高い支援を提供できるよう日々努めてまいります。

273 32 14 59

72%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうさくら 水海道山田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	5	・活動内容に合わせて、児童の部屋分けをしている。 ・職員が目が届くよう配置している。	・定員は適切で、指導員の目の届く空間です。 ・人数が多い時は部屋を分けるなど、適度な間隔を保ちながら活動します。
	2 職員の配置数は適切である	6	4	・勤務表の確認	・基準の配置数は満たしており、児童の状況により増員もしております。 ・送迎や活動、見守りの必要を確認し、安全に配慮していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1	・柱のある部分への衝突の回避、死角になる場所への注意を怠らない。	・柱や家具等の危険箇所には保護材を付けるなど安全対策を講じています。 ・お子様自身の行動につながるよう、動線の可視化に努めます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		・終礼での振り返り ・月例会議の開催	・日々の振り返りの他、教室全体として毎月の目標を設定し、実行、検証をしています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	・アンケートの実施及び、評価をもとに業務改善のための職員会議の実施	・アンケートの他、連絡帳、LINEの活用、送迎時における保護者様とのコミュニケーションを深めることにより、お子様の情報交換に努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	・実施している	・結果を受け止め、業務改善のための話し合いを設けます。 ・事業所としての取り組みは、こぼんはうさくらで発信していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	7	・特になし	・第三者による外部評価を行っていただけるよう、働きかけを検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	・実施している	・社内研修の他、外部研修などにもより多くの職員が参加できるよう検討していきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10		・個人ファイルや日々の行動で、気づいたことを職員が記入する「児童の記録」の活用	・日頃から児童の様子を記録し、客観的な分析ができるよう、広く職員が関わって意見を出し合えるよう心がけます。 ・相談支援員さんとの連携も図り、支援計画を作成していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	・使用している	・定期的に見直しを図り、現状の正しく把握するよう努めます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10		・複数の担当者が相談して立案している。	・職員全員の意見やアイデアを広く取り入れていきます。
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		・毎日違うプログラムを楽しめるように考えている。	・様々な情報を取り入れながら工夫していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	・状況に応じて課題を設定	・学校の宿題や学習内容に考慮して、個別課題を準備します。 ・時間に応じて個別の他、集団活動も組み合わせています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10		・社会性を育てるため、個人活動だけでなく、集団活動も取り入れている。	・集団の関りも大事にし、発達段階に応じてバランスの取れた目標設定を心がけます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		・配慮の必要な児童や配置の確認	・活動の流れやプログラムの進行、見守り等の役割を確認し、安全に配慮します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		・終礼の実施	・毎日職員同士の情報交換や支援の振り返りを行い、次回の活動に生かしていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		・日報、児童の記録により情報の共有	・なるべく多くの記録を残すよう心がけ、その情報を整理し、課題分析に役立てています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10		・目標に対する実施経過を確認	・関わった全職員からの情報収集をもとに、定期的にモニタリングを行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	1	・設定されている	・ガイドラインに則した上で個々のニーズに照らし合わせ、適切な支援が提供できるよう、支援内容を設定します。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		・主に児童発達支援管理責任者または管理者が出席	・担当者は日頃から児童の状況を把握し、支援の実施経過や職員の情報を収集した上で、支援会議に臨むよう心がけます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	2	・メールの確認 ・保護者を通じ情報収集 ・送迎児童に関する連絡	・送迎に関する定時連絡、ホームページでの行事確認などを行っていますが、先生との情報交換は少ないと感じているので、送迎時の情報交換を密にしていきます。 ・下校時間の変更等については、保護者様からの連絡により対応しています。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	7	・該当児童なし	・現在、該当する児童の在籍はありません。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3	・関係機関との連携を図る	・就学にあたり、今後の支援の参考のため、通園時の状況を学校に伝えるなど、保育所等とも連携し、情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	6	・実施していない	・過去の卒業生の際は実施していませんでしたが、今後の卒業生に関しては、移行する事業所等への情報提供を検討していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	5	・福祉協議会が開催する支援会議への出席	・今後の支援会議等に積極的に参加し、情報収集に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		10	・現在はなし	・現在交流は行っておりませんが、今後は状況により可能な範囲で実施できるよう検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	9	・現在はなし	・地域の情報を収集し、機会があれば積極的な参加を心がけます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		・連絡帳、LINEの活用 ・送迎時の対話	・引き続き、送迎時やお電話、連絡帳で情報共有を行っていきます。 ・LINEを活用し、写真や動画でお子様の活動の様子などをお伝えしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	4	・状況に応じたアドバイス	・保護者様向けの研修は現在行なっていませんが、今後そのような機会も設けたいと考えております。 ・保護者様の不安を軽減し、適切な助言ができるよう、職員の知識も高めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		・契約時に説明	・契約手続き時に書面にて説明しています。 ・分かりやすくご説明できるように心がけます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		・悩みに対しての適切な助言、支援	・適切な助言や支援が行えるように、情報収集をするなど知識を高めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		10	・開催していない	・保護者同士の交流を求める声もあり、今後開催できるように検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10		・主に児童発達支援管理責任者または管理者が出席	・苦情の受付窓口は、重要事項説明の際にお伝えしてありますが、ご契約以降もご案内に努めます。 ・苦情があった場合は速やかに対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		・毎月のプログラム、こぼんだよりの配布	・プログラムやこぼんだよりに、活動内容をお知らせするとともに、必要な情報を随時掲載するようにし、内容の充実を図ります。
	35	個人情報に十分注意している	10		・個人情報取り扱いについて説明し、同意書をいただく	・個人ファイルは厳重に管理します。 ・会話等で知りえた情報に関しても、適切に扱うよう留意します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		・絵カードやマカトンサインなどによる情報伝達	・絵、サイン、音など視覚や聴覚での伝達を行います。 ・言葉の指示は、なるべく短くわかりやすい言葉をつかうよう心がけます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7	・地域のボランティアの音楽隊による演奏会の開催	・年2回、地域のボランティアの音楽隊による演奏会の開催しました。また他にも交流できる企画を検討していきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10		・マニュアルの社内掲示、避難訓練の実施	・災害時の対応についてのマニュアルや避難場所など、保護者様への通知が不十分な部分もあるので、改善していきます。 ・地震、洪水、火災、不審者など、日頃から起こりうる災害を想定し、定期的に訓練を実施していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		・訓練の実施 ・防災用品の確認 ・職員の役割分担の確認	・様々な場面を想定し、1～2ヶ月に1回は訓練を行うようプログラムに組み込みます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		・虐待防止委員会の設置 ・研修の実施	・定期的に職員研修を実施し、虐待に当たる行為の防止に取り組み、適切な支援を行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10		・重要事項説明書において説明	・緊急時ややむを得ず身体拘束を行う場合の要件(切迫性・非代替性・一時性)について十分に説明し、ご理解をいただきます。お子様の状況により、支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	7	・該当児童がいる場合は対応	・アレルギーがある場合には、医師の指示に基づき慎重に対応します。全職員が把握し、おやつ提供の際などに二重チェックをするなど、事故が起きないように心がけます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		・作成している	・各事項について全職員の周知を図るとともに、同じことが起こらないよう改善策について話し合い、危険防止に努めます。